

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

出来る人に仕事は流れる

会社組織の中では、仕事が自然とある人に集中することがよくあります。仕事とは出来ない人から遠ざかり、出来る人へ流れていくのです。

時間がかかる仕事でも常に経過を報告してくれる社員。仕事を快く引き受けてくれ、取り掛かりの早い社員。仕事とはトライ＆エラーで仕上げていくものと理解している社員。こうした身のこなしが備わっている人は決して期待を裏切りません。

では仕事が寄ってこない人はどのようなタイプでしょうか。前述した仕事に対する向き合い方が真逆の社員です。依頼された仕事の経過を報告しない。新しい仕事を振られる度に出来ない(やらない)理由を並べる。自分の提出物の不備を素直に認めようとしない。

このような社員は、任された仕事をやり遂げる意思も能力も放棄しているのです。自分の守備範囲しか仕事をしない。仕事をしないのではなく能力が無いと判断されていることが分からないのです。



あなたは上司から仕事を任されることはありますか。資料づくりでも、交渉窓口でもなんでも良いのです。自分に指示がないことで余計な仕事を背負わなくて済んでいる、と思ってホッとすることはありませんか。信頼されないことを喜ぶなんて、つまらない人生の好例です。仕事があなたに寄って来る、そんな人であって欲しいと若い社員には話しています。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

 松本 隆一郎